

国際歯科保健医療の活動に関わる歯科衛生士

開発途上国に対する援助には政府が行う開発援助（ODA）と非政府組織（NGO）があり、支援活動の場としては ODA の国際協力事業団（JICA）や NGO の民間援助団体によるものがあります。

開発途上国では、貧困に起因するさまざまな問題に直面しています。また、内戦などによりたくさんの貴い命が失われ、教育システムが破壊され、多くの分野における人材の育成が立ち遅れているのが現状です。保健医療の分野も例外ではありません。経済開発の進展による都市化や食生活の変化が歯科疾患の増加を引き起こす一方で、開発途上国の保健行政サービスや医療サービスが追いつかず、保健衛生面や医療面に関する知識の普及も遅れているため、人びとの口腔環境はさらに悪化します。そこでは、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーションの考え方の下、JICA や NGO 団体が環境を整備し、人材の育成を目的に支援活動

を行っています。

歯科衛生士は、口腔保健の専門職として、母子や学童、高齢者など住民に対し、感染予防や栄養指導を含めて、歯磨き指導や歯や口の健康教育、フッ化物洗口の指導、口腔機能向上の指導、地域の実態調査、教員や学生などを対象とした歯科保健のリーダー養成などを行っています。また、その国の文化や実態にあった活動を実現化していくため、その国の教育・保健医療の専門職や地域の人びととともに活動しています。これらの活動が実を結び、活動地域の人たちの歯科疾患は改善傾向にあり、予防に対する意識にも変化が現れています。

JICA や多くの NGO 団体がホームページや機関誌などで情報を発信しています。このような活動に参加している歯科衛生士の数はまだまだ多くありませんが、国際的な保健医療協力は将来広がっていくと思われます。



<写真>

- A：家庭保育所で手づくり人形による保健指導を行っている（JICA 青年海外協力隊活動：ポリビア）
 - B：子どもにフッ化ジアンミン銀を塗布している（JICA 青年海外協力隊活動：ポリビア）
 - C：高齢者に歯磨き指導を行っている（NGO ネパール歯科医療協力会活動：ネパール）
 - D：山岳地方の村民の歯科実態調査を行っている（NGO ネパール歯科医療協力会活動：ネパール）
 - E：子どもたちに手洗い指導を行っている（NPO カムカムクメール：カンボジア）
- （写真提供：村越由季子、藤山美里）